

## [第4章]キュレーターの役割

インスペクションをおこなうことで、フィルムの製造年や過去の使用状況についての物質的な手がかりと共に、多くの技術データが入手できる。しかし、こうした証拠の数々をどのように関連づけるのだろうか。小さな情報から、その映画の制作意図や当時の反響について知り得ることなどあるのだろうか。所有者が文書化した題材、文化、歴史的背景を知るためのヒントになるものを、フィルム自体から割り出すことができるのだろうか。そしてそのフィルムは、所蔵先において、いかにして価値を発揮するのだろうか。本章は、フィルム自体が持つ物質的な証拠（[第3章]に詳しい）以外のことから映画を識別し、歴史的かつ文化的な重要性を正當に評価するための追加情報について論じる。映画保存の専門家はこうした情報源を利用して映画の特質性を理解している。そのフィルムが唯一無二のものであるかどうか確定できれば、パズルは遂に完成する。つまり、残存する元素材の中でそのフィルムがベストの状態にあり、これから保存用の複製を作成するにあたって、元素材になるべきものであることにお墨付きを得ることになるのである。

### 1. フィルムの過去がわかる記録

あるフィルムの来歴を調べるためにまずおこなうことといえば、所蔵フィルム自体を調べることと考えて間違いない。

#### ◇組織の記録

実際のところ、すべての図書館・文書館・博物館も現在、収蔵素材に関する記録を残している。現場の慣習にもよるが、寄贈者や販売者との書類のやり取り、評価、インベントリー、掲載されたパンフレット類または記事、キュレーターのメモ書きなどがファイリングされている。記録された時期によって情報は異なるかもしれないが、最低限でも入手時の詳細と入手手続きに関わった担当者の名前は（退職者も含めて）記録されているはずである。収蔵品自体を調べることも忘れてはならない。缶、ラベル、そしてオリジナルのフィルムケースに入っているメモ書きなどには、頻繁に有用な記述が含まれている（この種の証拠品に関しては第3章の3.を参照のこと）。

#### ◇マルチメディア・コレクションの中のフィルム

私的な紙資料や組織の記録の一部として収蔵されたフィルムに関して、収蔵品自体に実り豊かなドキュメンテーションが埋もれている可能性がある。往復書簡や手帖は、創作に深く関連していることだけではなく、そのフィルムの中に表現されていることを増幅することによって、いかにして、いかなる理由でそのアマチュア・フィルムが制作さ

れたのかという点に光を当てる。組織の記録又はアーカイバルな記録群の一部としてのフィルムにとっては、さらに文脈上の素材が、例えば脚本、組織内のニューズレター、メモ書き、写真、作品、財務記録、配給記録などがある。フィルム制作会社の記録は宝の山になり得る。

#### ◇口述歴史

比較的新しい組織にとって、過去の持主や相続者が最善の情報源となることは少なくない。電話をしたり E メールを送ったりすることから話題にのぼり、結果として招待を受けるきっかけになる。訪問やインタビューをおこなって、ビデオテープを持参して接触し、そこに映っている人や場所の判別を試みる専門家もいる。インタビューを受ける側は写真その他の物品を提供してくれるかもしれない。インタビューには必ず有用な追加情報を探り当てる可能性を秘めている。

## 2. 出版された情報

手元にある映画作品についてより深く学ぶためには、図書館での調査も必要かもしれない。映画作家についての、あるいは描かれている題材、出来事、撮影場所についての文献、記事、ウェブサイト等が、歴史的な記録としてのフィルムの特徴を外側から検証する助けとなる。国債の宣伝をするための『This Is Your City』（[第1章]の事例紹介にある政治的な広報目的で制作された作品）については、オクラホマ市の新聞各紙に詳しく報道され、商工会議所の記録にも残っている。同時期の会計報告が、いかにこのフィルムがキャンペーン全体に合っていたかを示している。

公に上映された映画は、出版物の批評や記事の中で話題になることが多い。無声映画時代の劇映画の批評を探して、映画史家は米国の娯楽業界の業界誌を隈無く調べた。批評に加えて、こうした資料にはクレジット、オリジナルの上映時間、製作情報が含まれている。地方で制作されて上映されたフィルムは、特有のファンを持つ。『Kearney and Its People (キアニーとそこに暮らす人々)』は、鉄道敷設によって誕生したネブラスカのある街の横顔を記録した 1926 年の映画で、ネブラスカ州立歴史協会に収蔵されている。キアニーへの誇りと共に、制作年のデイリー・ハブ紙には 2 度もこの映画が紹介されている。

政治広告、産業フィルム、公共サービスのお知らせ、教育映画など、公開された映画には、ターゲットとなる特定の観客が必ずあり、観客が読むだろう出版物に記録が残されているか、あるいはフィルムを制作した側が何らかの出版物を出している。「Business Screen Magazine」や「Educational Screen」といった業界誌は、現存しない制作会社に関する優れた情報ソースであり、その映画製作に参加した個人を割り出せる可能性も高

い。「教育映画ガイド」(廃刊)のような雑誌にはクレジット、粗筋などの情報が含まれ、驚く程様々な非劇場公開映画の題名が並んでいる。

米国議会図書館の著作権課の記録を調べるのも意義あることかもしれない。多くの劇場公開用映画は、ハリウッド映画から教育映画に至るまで、米国著作権法の保護を受けるために議会図書館に登録されていた。登録する際には、脚本のほか制作に関わる素材を含める権利者もいた。こうしたファイルは議会図書館の映画、放送、記録音声部門から入手できる。著作権カタログが出版されており、その中に登録番号が掲載されている。

### 3. 一般的な価値を認識しよう

異なる意見や視点を捉えているフィルムは、単純にその源泉を引き継ぐという特徴を持っている。主要メディアが普通は描かないような方法でコミュニティを描いているかもしれないし、あるいは参加者にしか撮影できないような伝統や行事を記録しているかもしれない。これがアマチュア制作の映画が重要な歴史的記録になり得る理由である。例えば牧師のセンショー・ササキは、西海岸の日系アメリカ人コミュニティの日常を、1920年代後半から1930年代初頭にかけて撮影した。これらはごく平凡なホームムービーだが、歴史は時にごくありきたりのものに価値を与える。今日、日系アメリカ人国立博物館の収蔵品となっているササキのフィルムは、第二次大戦中の強制収容によって根こそぎ失われてしまったコミュニティのタイムカプセル以外の何ものでもない。このコレクションが存在しなければ、この分野の研究者が文化的な重要性を数多くのホームムービーの中から選別することは極めて困難である。そしてテレビのニュース用フィルムは地域に根ざした収蔵品を提供している。結局、専門家はフィルムの年代、技術的なクオリティー、題材にまつわること、視点と同時に組織としての蒐集の興味対象を考慮に入れて査定する。

極めて重要なのは、収集対象を収蔵方針として明文化することである。既にほとんどの収蔵先機関は、受け入れの対象となる素材について、研究上の定義や地理的領域、制作時期等を文書で示している。こうした文書によって収蔵品の獲得と組織的な責務とが関連づけられ、様々な部署に対して収集の目標を明確に示す。こうした文書にフィルムが含まれているかどうかを確かめよう。組織の役割を知らしめ、将来の選別決定の指針を導くものとなる。

### 4. 手元にあるのは残存する「最善の」情報源だろうか？

一旦フィルムの歴史的な価値が確実にになったら、パズルの最後の1ピースは、そのフィルムが唯一無二の存在かどうかを査定することである。この問いによって、議論は組

織内部から国内の、あるいは国際的な視点へと映っていく。映画は、まさにその本質から、複数のプリントと原版が存在する可能性がある。そのほかの博物館、文書館、図書館が複製を所蔵しているかもしれない。蒐集家のところや営利アーカイヴにもあるかもしれない。あなたの組織が所有しているフィルムが「ベスト」であり、将来の保存に向けて使う価値があるということは、どうすれば確定できるのだろうか。

多くのキュレーターが気にするように、この確定は方程式に添っておこなうというより、判断に委ねられる。考慮すべき要素には次のものがある。(1) そのほかの収蔵先に存在が知られている複製物の数、(2) カメラ・オリジナルから数えてそのフィルムが何世代目にあたるものか (3) 完全度 (そのフィルムのオリジナル長との比較)、(4) その物質的な状態。プロのフィルム制作者や映画会社から直接入手したフィルムに関しては一般的に判別は容易である。A ロール、B ロール、磁気サウンド、そして原版は映画制作の過程で生まれる者である。損傷を受けても不完全でも、こうした元素材はもっとも信頼できるものである。アマチュア・フィルム作家や映画作家の遺族から直接入手したフィルムも「ベスト」の複製であることが多い。

もう1つのかなり直接的なケースは8mm、スーパー8、そして16mmのリバーサル・オリジナルである。こういったフィルムは唯一無二の存在である。作家がフィルムにペイントしたり故意に傷をつけたりした作品にも同じことが言える。

\*米国ではレギュラー8又はダブル8の規格を「8mm」、スーパー8(コダック)とシングル8(富士フィルム)は何れも「スーパー8」と呼びならわす。

しかし上映用プリントに関しては、歯切れも悪くなってしまう。大雑把に言えば、フィルムの観客のターゲットが小規模で専門的になればなるほど、焼き増しされたプリントの本数は減る。プリントの本数が少ないと、ある組織が調査対象とする素材がほかのどこにも複製されていない可能性が高まる。しかし、題材の内容、ソース、そして一般常識もまた関わってくる。

例えば、8mm又は16mmのハリウッド短編劇アニメの音付きの複製を取り上げてみよう。プリントは家庭用、そして公共団体向けに大量生産されたものである。同作品の35mmプリントが営利コレクションに含まれている可能性はかなり高い。しかしながら無声映画のフィルムは、それと同じというわけにはいかない。米国で制作された無声劇映画の凡そ75%は失われたと考えられ、その小型化ヴィンテージ・プリントは貴重なソースになり得る。そのようなプリントのために、無声映画に強いアーカイヴに問合せたり、国際フィルム・アーカイヴ連盟(FIAF)の無声映画データベースをあたることには意義がある。特定の観客に向けて制作され、広域に配給されなかったフィルムについて、その調査は何段階かを経ないと完了したとはいえない。電話による戦略的な情報収集、あるいは、

その分野の映像を蒐集している組織、または関連する映画制作者を訪問したりすることで、複製が他にも存在する可能性を明確にすることができる。技術者として高名な若きチャールズ・スターク・ドレイパーによる1930年代初頭の「Airplanes at Play」の16mmは、航空調査の元手を得るために制作された。この作品に関して、より状態の良い複製を探索したマサチューセッツ工科大学（MIT）博物館は、35mmの元素材がチャールズ・スターク・ドレイパー本人のラボにあることを発見した。

政府の制作したフィルムは特例である。なぜなら米国国立公文書館（NARA）は米国で制作されたフィルムの複製を保有しており、国立ではない組織に収蔵されている上映用プリントは既にNARAが所有しているフィルムから複製をとったものかもしれない。多くの州や地方自治体もフィルムを制作したが、アーカイヴ化の実践はそれぞれの管轄によって様々である。州や地方自治体の制作したプリント調査となると、一般的に、よりいっそう脚を使う仕事になる。

全米に配給された16mmの産業映画、教育映画、広報映画、トレーニング用の映画は調査が最も難しい。数多くのプリントが教育、軍事、営業目的や、サークルや教会の集会用に製作された。しかしほとんど残っていないかもしれない。16mmの産業映画または教育映画の残存するプリントがベストの素材であるかを見極めるには、相当量の調査をおこなわねばならない。

ほかの複製の存在を調べる際に、探索の選択肢は数多くある。ほとんど間違いなく、最初に手をつけるべきは米国議会図書館のオンライン・カタログである。ここには図書館に所蔵されるような映画のほとんどの記録が含まれている。さらに、有用なインターネット上の情報源として「プレリンガー・アーカイヴズ」(<http://www.archive.org/details/prelinger>)がある。ここには凡そ2,000を超える数のアクセス、閲覧可能なPR映画、教育映画、産業映画の映像がある。次に調べる価値があるのは大学、アーカイヴ、博物館のための書誌情報提供機関 OCLC and RLIN（第7章の4. 参照）のフィルム記録である。最後に、北アメリカだけで1,860点の所蔵品を掲載している国際的な要覧 Footage がある。ストック・フテージの研究者向けに作成されたこの参考資料はほとんど知られていない収蔵先を多くカバーし、広範に及ぶテーマ別インデックスを含み、これを使えば同様の素材を所有していそうな組織を識別することができる。保存の専門家がプロの参加するメーリングリストを活用するケースも一段と増えている。映像アーキヴィスト協会（AMIA）、米国図書館協会、米国アーキヴィスト協会（SAA）がメーリングリストを運営している。プロたちが質問を投げかけて、その領域に関する回答を受け取ることができる。専門的なテーマ別のメーリングリストもまた1つの情報源である。しかしながらフィルムのタイプによっては、たとえ国家規模のデータベースを調査し、同僚たちに電話で尋ねても、なんら明確な答えを得られないことがある。さらに専門家は決して、そのプリントが残存する元素材の中でもベストのものだと

断言することはできない。従って [チャプター5] に記したようなフィルムからフィルムへの保存を考えると、保存の専門家は世界にたった1本しか残存しない、希少で歴史的に重要なフィルムを優先することを推奨している。

表6 フィルムが唯一無二の素材であるかどうかを査定する：まとめ

フィルムの素材または種別	あなたの組織に残存する素材が「ベスト」なのか？
編集用の素材（Aロール、Bロール、インターポジ、原板又は磁気トラック）	おそらく。但し、その素材が完全版で、物質的な状態が良い場合に限る。
リバーサル・オリジナル	おそらく。但し、その素材が完全版で、物質的な状態が良い場合に限る。
手彩色の芸術的なプリント	おそらく。同様の複製も存在するかもしれない。
アマチュア・フィルム又はホームムービー	おそらく。但し、その素材がリバーサル・オリジナルの場合。もし上映用ポジであれば、内部資料を確認して作家かその遺族に連絡をすること。
ハリウッド劇映画の長編又は短編のリダクション・プリント	8ミリの場合はそうは言えない。16ミリの音付きのプリントもおそらく違うだろう。28ミリ又は16ミリの無声映画のプリントであれば、そうかもしれない。調査の必要がある。
連邦政府が制作したフィルム	違う可能性が高い。
州政府または地方自治体が制作したフィルム	おそらく。35ミリであれば可能性は高まる。調査の必要がある。
専門性の高いテーマの広く配給されなかったフィルム	おそらく。35ミリであれば可能性は高まる。調査の必要がある。
地域で制作された、広く配給されなかったフィルム	おそらく。35ミリであれば可能性が高まる。調査の必要がある。
全国配給された教育映画又は産業映画	そうとは考え難い。断言するのは難しい。調査の必要がある。

事例紹介：アラスカ・フェアバンクス大学

『ウィル・ロジャースとワイリー・ポスト』(1935年 650 ft. 16mm 白黒 無声)

『ウィル・ロジャースとワイリー・ポスト』とは、アラスカ・フェアバンクス大学のアラスカ・フィルム・アーカイヴズに保存されている映像である。フィルムの判別にあたって、目利きのキュレーターに勝るものはない。フェアバンクスのノーススター郡図書館から移管された2本の謎に満ちたフィルムを、アラスカ・フィルム・アーカイヴズがいかにして識別したか、それが本ケース・スタディーの要である。アーカイヴは入手時の記録に頼ってフィルムの出所と来歴を確かめることが多いが、このフィルムに関して大学にはほとんど何の情報もなかった。わかっていたのはこの2本がかつて公共図書館に所蔵されていたこと、そして2度の洪水を生き延びたことだけだった。それは缶の状態から明らかになったことである。つまり、缶は錆びていて、こじ開けなくてはならなかった。缶の中には16mmのリバーサル・オリジナルが、やはりオリジナルのリールにきつく巻かれていた。インスペクションに取りかかる前に、担当キュレーターはフィルムを室温に順応させ、大きめのコアに注意深く巻き直し、トップとエンドに新しいリーダーを加えた。

フィルム自体を詳しく調べることで判明することは多い。まず指針となるのがフィルム・ストックのエッジコードである。このコードから、いつどこでフィルムが製造されたかがわかる。エッジコードをコダックのチャート(〈付録A〉参照)と照会すると、1935年以降に撮影されたフィルムとわかった。次にリバーサル・プリントの状態が証言者となった。このオリジナルはパーフォレーションが壊れ、スプライスが傷み、擦り切れ箇所もあり、つまりボロボロであった。どうやら頻繁に上映されていたものらしい。

何がそれほど観客をひきつけたのだろうか？フィルムをビューワーにかける前に、キュレーターはフィルムの収縮度を手作りの測定器で計測した。収縮は1%弱であったから、どうにか機械にもかかる。しかしこの映像の中に、コメディ俳優ウィル・ロジャースがフェアバンクスのウィークス・フィールドにあるパシフィック・アラスカ・エアウェイズの飛行機格納庫にワイリー・ポストを訪れる場面が発見されようとは、誰が想像し得ただろう。エッジコードの製造年、フィルム状態、記録されている場面、そのほかの映像から総合的に判断して、キュレーターはこう確信した。自らが調査しているフィルムこそ、ロジャースとその親友ワイリー・ポストの命を奪った1935年8月15日の飛行機事故の直前に撮影されたものであると。

大学はフィルムを保存し、閲覧用のVHSテープ制作のための助成金を獲得した。この歴史的に重要なフッテージは現在、アーカイヴの華氏40度、相対湿度35%のフィルム倉庫に無事収蔵されている。閲覧用のコピーはアラスカ・フェアバンクス大学エルマー E.

ラスムソン図書館のゴールドマイン・カタログに次のように登録されており、ネット上でも閲覧可能である (<http://www.uaf.edu/library>)。「著名なコメディアンであるウィル・ロジャースが 1935 年 8 月 15 日、航空機事故で亡くなる直前の映像 (Celebrated humorist Will Rogers on August 15, 1935 shortly before his air crash)」。